

# 千歳新聞

## 新年の御挨拶



施設長 山本亮介

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、昨年はパリオリンピック・パラリンピックが二大会ぶりに有観客のもとに開催され、日本人選手の活躍が印象的でした。前回大会は無かった会場いっぱいのお客様と大きな歓声は、世界が「日常」を取り戻したことを強く印象づける喜ばしい光景でもありました。

千歳園におきましても、令和六年は、「日常」を取り戻す一年となりませんでした。利用者様の「日常」へと目を向ければ、一定の制限を設ける中ではありましたが、二階・三階フロアでの面会を解禁し、ボランテアの方々の協力による各種行事の開催や、年末には恒例の餅つき会も行おうことができて、生活の中での潤いとなる部分も感じております。一方で、職員の間でも、介護技術の向上を図ることができ、日々の業務の効率化や専門性を競うこと、並びに市民の皆様に介護の理解を深めていただくことなど、目的への開催されるイベントです。コロナ禍を経て、入浴部門、食事部門、排泄部門、排他部門、その他の部門へも、各介護士がエンターティメントとして、後の介護士が、どの部門でも、その技術を高く評価され、日々温かみの観戦士が、想像できない部門にも、実践して対応が、食事を素早く支えることへの参加を感して、多くの気づきや学びを得たものと感じております。

令和七年も職員の様々な「挑戦」が、自身の良き「経験」となり、新たな「気づき」が、面積に重なり、繋がると同時に、利用者様の「一人ひとりの向上」を繋ぎ、引き続きのサポートの向上へ、よろしく引き続きお願いいたします。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

2025年  
1月発行  
第158号  
千歳園  
広報委員会

特 養

冬至 十二月十九日～二十一日の三日間、冬至にちなんでゆず湯を行いました。ゆず湯に入る習慣は江戸時代に始まったと言われています。ゆず湯に入ることは身体を温め、無病息災を願う日本の文化だそうです。

「ゆず湯に入られた利用者様からは、いい香りだね」「身体がぽかぽかするね」と喜んでいただけました。子供も私も職員も嬉しく思っています。

私たち職員も利用者様に安心して入浴してほしいと思います。

## MERRY CHRISTMAS



クリスマスシーズンには、利用者様にケーキを提供しました。チョコレート、イチゴ、クリームのお菓子も人気です。

「笑顔が素敵だね」「利用者様も一緒に食べてください」。

「利用者様も一緒に食べてください」。

「利用者様も一緒に食べてください」。



令和六年 十一月～十二月  
苦情結果報告  
苦情件数 〇件



